

令和2年度 事業報告書

川崎市多摩区社会福祉協議会

目 次

重点事業	1
1 多摩区社会福祉協議会運営事業	2
2 調査研究事業	2
3 企画・広報事業	3
4 地域福祉活動事業	3
5 団体等助成事業	4
6 共同募金事業	4
7 福祉パル管理運営事業	5
8 生活福祉資金貸付事業	5
9 ボランティア活動振興事業	5
10 日常生活自立支援事業	7
11 老人いこいの家運営事業	7
12 多摩老人福祉センター運営事業	8
13 公益事業	9
14 災害活動関連事業	9
15 団体事務	9
16 その他	9

令和2年度事業報告

重点事業

1 ボランティア活動の振興（基本目標1－行動計画1－2）

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて多くの事業が中止となりましたが、川崎市社会福祉協議会の福祉施設へマスクを寄付するためにご家庭で使う予定のないマスクを募集する「とどけよう！かわさきマスク」事業の中で、福祉パルたまにマスクの回収ボックスを設置してマスクの募集を行いました。また、「地域生活支援SOSかわさき事業の食料支援かわさき」では、区社協会員や関係団体等に呼びかけて食料を募集し、食料を必要としている世帯へお渡ししました。

福祉教育としては、オンラインで小学校と当事者施設をつなぎ、小学生と障害者との交流を図る学習の調整を行いました。また、かわさきキャラバン隊がNEC玉川プロボノ倶楽部と協働して実施している「知的障害者疑似体験」が、コロナ禍でも体験ができるようオンライン化に協力しました。

2 災害支援ボランティア活動の推進（基本目標1－行動計画2－2）

例年、多摩区役所が実施する総合防災訓練において災害ボランティアセンターの周知活動を行っていましたが、今年度は、総合防災訓練が新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となり、周知活動も実施できませんでした。そのため、多摩区民生委員児童委員協議会理事研修会での「川崎市ぼうさい出前講座」の実施についての調整に協力し、その中で災害ボランティアセンターの周知を行いました。

3 情報提供の充実（基本目標2－行動計画3－1）

多摩区社会福祉協議会の事業活動の紹介や、関連する福祉情報の提供を行うとともに、広く社会福祉に関する啓発を行うとともに、今年度は新型コロナウイルス感染症に関する区社会福祉協議会の対応等について適時に情報を提供するように努め、広報紙「区社協だより多摩」を年3回発行し、ホームページへの掲載や音声版広報紙の作成により、多くの区民への情報提供を行いました。

また、福祉パルたまの移転については、平成30年度から具体的な検討を行い、令和2年4月に現在の場所に移転しました。

移転前の福祉パルたまには、上りエスカレーターのための設置のため、障害者・高齢者等の利用者の利便性の確保が課題となっていました。新しい福祉パルにはエレベーターが設置されるなど、利便性も大きく向上しています。

4 安定的に持続した組織・基盤づくり（基本目標2－行動計画4－3）

令和2年4月に川崎市社会福祉協議会と法人合併を行い、組織基盤を強化しました。また、「川崎市多摩区社会福祉協議会第4期地域福祉活動計画」については、自然災害、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、会員や関係機関、団体等と協議を重ねて後期の計画の見直しを行いました。

令和3年度からは、多摩老人福祉センターが川崎市社会福祉協議会の組織改編に伴い川崎市社会福祉協議会施設事業部へ移管することとなったため、事業整理及び調整にあたりました。

事業報告の内容

川崎市多摩区社会福祉協議会 事業費【 48,002千円】

【サービス区分事業活動支出 39,329千円】

【共同募金配分金 8,673千円】

1 多摩区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会、正副会長会議の運営

ア 常任委員会の開催 3回

5月29日（書面表決）、9月25日、2月22日（書面表決）

イ 運営協議会の開催 1回

3月25日（書面会議）

ウ 正副会長会議の開催 5回

4月3日、9月14日、12月14日、1月25日、2月12日

(2) 一般会員、賛助会員、協賛会員の募集

各地区社会福祉協議会（町会自治会、民生委員児童委員等）の協力により、10月から賛助会員を募集しました。

実績 3,310件、4,705,000円

また、自主財源確保のための各種会員募集・寄附金募集では、広報紙や区社会福祉協議会ホームページを活用した広報活動を行いました。

2 調査・研究事業

(1) 第4期地域福祉活動計画の中間見直し

計画期間前半の川崎市社会福祉協議会との法人合併や、自然災害、新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、会員や関係機関、団体等と協議を重ねて後期の計画の見直しを行いました。

(2) 合併に伴う事業等の見直しと整理

川崎市社会福祉協議会の支部として常任委員会、運営協議会を設置し適正に区社会福祉協議会の運営を行いました。

また、令和3年度からの多摩老人福祉センターの川崎市社会福祉協議会への移管に向けた検討と事業の整理等を行いました。

(3) 種別会議等によるニーズ調査

第4期地域福祉活動計画の中間見直しにあたり、各種別の会員から意見聴取を行い、その結果を「第4期地域福祉活動計画中間見直し報告書」に反映しました。

(4) 区社会福祉協議会・地区社会福祉協議会研修会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

3 企画・広報事業

(1) 広報紙「区社会福祉協議会だより多摩」の発行

区社会福祉協議会の事業活動の紹介や、関連する福祉情報の提供を行うとともに、広く社会福祉に関する啓発を行うため、広報紙「区社協だより多摩」を年3回発行しました。

広報紙は、区社会福祉協議会会員や関係機関等への配布と併せ、多摩区内の町会・自治会での回覧(年2回)とタウン誌の一部ページを買い取った形での掲載(年1回)を行いました。さらに、ホームページへの掲載や音声版広報紙の作成により、多くの区民への情報提供を行いました。

(2) ホームページの運営

ホームページでは、随時老人いこいの家や多摩老人福祉センターでの区社会福祉協議会の各種講座の周知やボランティアの募集、老人いこいの家の月間予定等の情報の更新・発信を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症に関する区社会福祉協議会の対応等について適時に情報を提供しました。

(3) 第13回多摩区社会福祉大会の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(4) 多摩区民祭への参加による啓発活動

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため多摩区民祭が中止となりました。

4 地域福祉活動事業

(1) 地区社会福祉協議会活動の支援

区内の5つの地区社会福祉協議会が主体的に地域福祉活動に取り組めるよう支援を行うとともに、相互の連絡調整や連携のための地区社会福祉協議会会長会議を開催しました。また、当該会議の中でコロナ禍での各地区社会福祉協議会の活動に関する情報交換や今後の方向性についての検討も行いました。

(2) ふれあい子育てサロン「いちにのさん!」の開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(3) 車椅子の貸出

障害や高齢、病気やけが等で外出が困難な区民の生活上の便宜や社会参加を促進するため、車椅子の貸出しを行いました。車椅子を管理していく上では、傷害保険・賠償責任保険に加入するとともに、破損や劣化が見られる物については随時メンテナンスや廃棄を行いました。

貸出台数 延84台

5 団体等助成事業

住民主体による福祉・ボランティア活動を推進するため、活動団体に情報提供や連絡調整等の協力支援を行いました。

賛助会費を原資とした「地域福祉活動費助成」や、会食会、配食サービス、ミニデイサービス活動を対象とした「ふれあい活動支援事業助成」等の助成事業を通じて、地域福祉活動や在宅福祉活動の支援を行いました。

寄付金品を受入れ、「助成金配分委員会」を開催し、第9種会員（障害者等当事者団体）、第10種会員（ボランティアグループ）及び区内福祉施設等への寄附金品の配分を行いました。

6 共同募金事業

(1) 共同募金会が実施する共同募金運動への協力

神奈川県共同募金会川崎市多摩区支会として、各地区分会と協力し区内の共同募金運動を実施しました。

共同募金（一般募金）実績額	11,181,301円
年末たすけあい募金実績額	7,069,239円

(2) 共同募金配分事業の実施

神奈川県共同募金会からの配分金を各地区社会福祉協議会に育成交付金として交付するとともに、地域福祉の推進のために開催される行事への助成を行ったほか、本会が行う各種事業に充当して有効に活用しました。

一般募金配分金額	531,866円
年末たすけあい募金配分金額	4,598,127円

ア 区内在住の福祉ニーズを持つ世帯への年末慰問金の交付

年末たすけあい配分委員会において交付額等を検討し、申請のあった福祉的ニーズを持つ世帯に年末慰問金を交付しました。

交付額3,125,000円 配布世帯625世帯 1世帯への交付額5,000円

イ 福祉車両の貸出事業の実施

障害や身体機能の低下等で、公共交通機関による移動が困難な方を対象に「福祉車両貸出しサービス」を実施していますが、今年度は利用の申請がありませんでした。

ウ 地域福祉貢献事業の起業グループへの助成

地域福祉活動の立ち上げを支援する「地域福祉貢献事業起業助成」事業については、今年度は申請がありませんでした。

エ 福祉関係団体、行事への助成（母親クラブ、社会を明るくする運動、多摩ふれあいまつり、たまたま子育てまつり）

多摩区内の6つの母親クラブの活動を支援するため、各地区社会福祉協議会を通じて1クラブ5,000円の助成を行いました。また、区民への子育て情報の提供や入会希望者の各団体への紹介の調整等を行いました。

また、社会を明るくする運動には、60,000円の助成を行いました。多摩ふれあいま

つり、たまたま子育てまつりは、コロナ禍で中止となったため助成も行いませんでした。

7 福祉パル管理運営事業

(1) 福祉パルたまの移転の実施

移転前の福祉パルたまは、エレベーターが未設置であり、障害者・高齢者等の利用者の利便性の確保が課題となっていたため、平成30年度から具体的な検討を行い、令和2年4月に現在の場所に移転しました。

新しい福祉パルにはエレベーターが設置され、一般用及び障害者用トイレも全自動化されるなど利便性も大きく向上しています。

(2) 研修室、ボランティアコーナーの利用提供

川崎市から「福祉パルたま」の管理運営業務を受託し、地域福祉活動・ボランティア活動の拠点施設として、研修室及びボランティアコーナーの利用提供を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために4月11日から6月30日までは休館、7月からは利用時間の短縮、人数制限を行うなど安全に十分に配慮して行いました。

	年間利用件数	年間延べ利用者数
研修室	196件	2,009人
ボランティアコーナー	73件	256人
印刷機利用	110件	—

8 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度の緊急小口資金及び総合支援資金は、例年、相談件数が延2,000件から2,400件、申請件数が10件から30件程度ですが、令和2年3月25日から新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付が設けられたことにより、令和2年度は、延17,171件の相談を受け、3,047名から4,028件と膨大な件数の申請がありました。その内、年度内に貸付を決定した件数は3,037件となりましたが、貸付け対象とならなかった相談についても、他機関の紹介や他制度の情報提供等を行いました。

9 ボランティア活動振興事業

(1) 多摩区ボランティアセンターの運営

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて多くの事業が中止となりました。その中で川崎市社会福祉協議会が実施した福祉施設へマスクを寄付するためにご家庭で使う予定のないマスクを募集する「とどけよう！かわさきマスク」事業について、多摩区社会福祉協議会では福祉パルたまにマスクの回収ボックスを設置してマスクの募集を行いました。

また、「地域生活支援SOSかわさき事業の食料支援かわさき」では、区社協会員や関係団体等

に呼びかけて食料を募集し、食料を必要としている世帯へお渡ししました。

(2) ボランティア相談会「たまぼらひろば」の開催

新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりパサージュ・たまの出店数が制限されたため、ボランティア相談会「たまぼらひろば」の出店は見合わせました。

また、区民・関係機関等からの相談については、多摩区ボランティアセンター運営委員会に報告し、ボランティアニーズの共有化を図りました。

<年間相談件数>

- ・ボランティアをしたい方の相談： 12件
- ・ボランティア受け入れ希望者の相談： 9件

(3) ボランティア情報誌「たまぼら」の発行と区社会福祉協議会ホームページを活用したボランティア情報の発信

ボランティア活動に対する様々な情報の提供を通じて、ボランティア活動への理解や関心を高めることを目的に、ボランティア情報誌「たまぼら」を発行（2,047部発行）し、区内の関係機関やボランティア活動希望者に送付するとともに、区社会福祉協議会のホームページに掲載しました。

今年度は「地域生活支援SOSかわさき事業の食料支援かわさき」事業について掲載し、食料の募集を行いました。

また、区社会福祉協議会ホームページでボランティアグループの紹介や、ボランティアの募集情報の発信を行いました。

(4) 大学生へのボランティア活動の啓発

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年実施していた日本女子大学での「大学生を対象としたボランティアに対する意識を知るための交流会」は中止しました。

(5) 各種ボランティア講座の開催

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、ボランティア講座は全て中止しました。

(6) 福祉教育の推進

従来、当事者が学校を訪問して行っていた福祉教育について、非対面でできる交流として、オンラインツールを活用した取り組みなどの調整を行いました。12月には、宿河原小学校と地域活動支援センターいっぽ舎をオンラインでつなぎ、小学生と障害者との交流を図る学習が行われました。

また、福祉教育推進のための各種事業の方向性や課題を検討する福祉教育推進委員会を開催し、セミナーグループ・サポートグループの2つのワーキンググループに分かれ、福祉についての啓発を目的とした事業の取り組みについて話し合いを行いました。

ア 福祉教育に関する相談支援

相談件数	9件（小学校4件、中学校3件、その他2件）
対応件数	18件（相談1件について複数対応あり）
講師の紹介件数	6件（当事者団体、福祉施設職員及び利用者等）
福祉用具貸出件数	12件

- イ 教職員と福祉学習支援者との交流会の開催
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。
- ウ 福祉教育セミナー、親子参加型福祉講座の開催
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。
- エ 福祉教育ハンドブックの効果的な活用の検討
福祉教育ハンドブック第5版を作成し、区内の学校や関係機関に配布しました。
- オ 福祉教育用福祉用具の貸し出し

貸出件数	12件・・・	()	内は貸出した台数
高齢者疑似体験セット			5件(44台)
点字器			3件(41台)
白杖セット			1件(7台)
妊婦体験ジャケット			3件(5台)
- カ 知的障害者疑似体験デモ体験会への参加・協力
かわさきキャラバン隊がNEC玉川プロボノ倶楽部と協働で実施している「知的障害疑似体験」がコロナ禍でも実施できるようオンライン化に協力しました。
また、その一環として企画された知的障害疑似体験のデモ体験会(2月19日)に、福祉教育推進委員が参加しました。

10 日常生活自立支援事業

高齢者や障害者で、福祉サービスの利用契約や日常的な金銭管理を行うことに不安のある方が、地域で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かり等のサービスを行いました。

新規相談ケースについて調査を行い、必要なケースは川崎市あんしんセンターの審査を経て、当該決定に基づき支援を行いました。

専門員は川崎市社会福祉協議会・県社協・全社協開催の研修、生活支援員は川崎市社会福祉協議会開催の研修へ積極的に参加し、職員の資質向上に努めました。

また、次年度から利用者のうち生活保護受給者が、民間事業者の実施する被保護者金銭管理等支援事業に移行するため、市社会福祉協議会あんしんセンター及び区役所保護課と調整して、対象となる利用者への説明を行いました。

11 老人いこいの家運営事業

(1) 区内7館(登戸、菅、錦ヶ丘、長尾、枳形、中野島、南菅)老人いこいの家の管理運営

新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が発出されたことに伴い、川崎市の運営方針に基づき、宣言の対象期間の4月11日から5月31日までを休館としました。再開後も対応方針により利用制限を設けながら、感染拡大防止策を徹底した運営を行いました。

例年実施していた利用団体の活動を発表する場としての講座発表会は、新型コロナ感染拡大防止のため中止しました。また、こども世代との交流事業は、3密にならないように配慮し、登戸・長尾老

人いこいの家で実施しました。

団体利用者数 19,230名 (利用団体数 2,756団体)

個人利用者数 7,772名

(2) いこいの家公開講座の開催

地域の方々に老人いこいの家を周知し、利用を促進するためのきっかけ作りとして公開講座を開催しました。「終活を知ろう」というテーマで企画し、地域の企業の方に講師を担っていただき、少人数で複数回開催するなど新型コロナウイルス感染症予防の工夫を行いながら開催しました。

(3) こども文化センター等との多世代交流事業の実施

老人いこいの家での多世代交流は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

こども文化センターと合築になっている長尾老人いこいの家では、敬老の日とクリスマスに、非対面でプレゼント交換する形での交流を行いました。

また、単館の登戸老人いこいの家では、利用者が近隣のこども文化センターの子どもたちから送られたDVDを見て、感想の手紙を送る形での交流を行いました。

(4) 「ふくし寄合処たま」の開催

誰でも気軽に来られる居場所と相談機能を兼ね備えた「ふくし寄合処たま」を、新たに錦ヶ丘老人いこいの家を加えた区内5館（登戸・長尾・中野島・南菅・錦ヶ丘）の老人いこいの家で10月から月1回開催しました。

域包括支援センターなどの関係機関と共に地域の方々からの相談を受ける中で、地域の福祉的ニーズを把握し、課題解決に努めました。

(5) 老人いこいの家運営委員会、老人いこいの家運営委員長会議の運営

南菅老人いこいの家で1回開催しましたが、他の老人いこいの家は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止しました。

(6) 管理人、臨時職員研修会の開催

老人いこいの家管理人と臨時職員を対象に、AEDの使用方法を含む救命救急講習を実施しました。

(7) 区内3館（登戸、菅、中野島）の老人いこいの家でのミニデイケアサービス事業の実施

川崎市からの受託により、区内3館（登戸・菅・中野島）の老人いこいの家において、地区社会福祉協議会やボランティアグループによるミニデイケアサービス事業を計画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。なお、参加を予定していた利用者には見守りのため、実施メンバーから電話や手紙等による安否確認を行いました。

1.2 多摩老人福祉センター運営事業

令和2年4月7日付で、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が発出されたことに伴い、川崎市の運営方針に基づいて4月11日から5月31日までの期間を休館しました。

また、再開後も川崎市及び川崎市社会福祉協議会の方針等に基づき、カラオケ、卓球、入浴等の利用制限を行い、各部屋の利用人数制限を設ける中で、利用者にも感染予防の徹底をした上での施設利用の協力を呼びかけました。

各種講座やイベントについては、適宜中止又は開催時期の変更などの対応を行う中で、いきいき健康フェア（嘱託医による健康講座とポッチャ体験）や仏教美術歴史講座、ロコモン体操等の一般講座を実施しました。

1 3 公益事業

(1) 川崎市高齢者フリーパスの販売

川崎市社会福祉協議会から川崎市高齢者外出支援乗車事業を受託し、川崎市高齢者フリーパスを年間3,459件（うち福祉パス685件）販売しました。

1 4 災害活動関連事業

例年、多摩区役所が実施する総合防災訓練において災害ボランティアセンターの周知活動を行っていましたが、今年度は、総合防災訓練が新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となり、周知活動も実施できませんでした。そのため、多摩区民生委員児童委員協議会理事研修会で、「川崎市ぼうさい出前講座」を実施し、その中で災害ボランティアセンターの周知も行いました。

1 5 団体事務

(1) 神奈川県共同募金会多摩区支会としての募金活動の推進

神奈川県共同募金会川崎市多摩区支会として、各地区分会と協力し区内の共同募金運動を推進しました。（「6 共同募金事業」の再掲）

(2) 多摩区民生委員児童委員協議会への協力支援

区内の各地区民生委員児童委員協議会の連携を目的とした多摩区民生委員児童委員協議会の事務局を担い、地域福祉活動の推進に深く関わる民生委員児童委員活動への支援を行いました。

(3) 多摩区当事者・ボランティア連絡会「たまわかくさ」への協力支援

区内を拠点に活動している福祉当事者や、ボランティアグループ等で組織している「たまわかくさ」の事務局として、運営委員会や研修会等の実施を支援するとともに、活動経費の助成を行いました。

1 6 その他

地域の福祉関係機関・団体との円滑な連携関係を構築し、地域における福祉的課題の把握に努めるとともに、川崎市社会福祉協議会が実施する事業に協力し、地域福祉の推進を図りました。

また、昨年度に引き続き、明治学院大学の社会福祉士の相談援助実習生を受け入れました。

令和2年度 事業報告
附属明細書 (資料編)

	頁
1 多摩区社会福祉協議会運営事業	1
3 企画・広報事業	3
4 地域福祉活動事業	3
5 助成事業	4
6 共同募金事業	6
7 福祉パル管理運営事業	8
8 生活福祉資金貸付事業	11
9 ボランティア活動振興事業	12
10 日常生活自立支援事業	13
11 老人いこいの家運営事業	14
12 多摩老人福祉センター運営事業	16
13 公益事業	17
16 その他	17

1 多摩区社会福祉協議会運営事業

(1) 常任委員会、運営協議会、正副会長会議の運営

ア 常任委員会

期 日	内 容	会 場
5月29日 書面表決	① 社会福祉法人川崎市多摩区社会福祉協議会 令和元年度事業報告について 承認 ② 社会福祉法人川崎市多摩区社会福祉協議会 令和元年度決算報告について 承認 回答：14/14人	—
9月25日	① 川崎市多摩区社会福祉協議会 令和2年度第1次補正予算(案)について 承認 ② 担当理事制の見直しについて 必要に応じて設置する ③ 川崎市多摩区社会福祉協議会 地域福祉活動計画について ・第4期地域福祉活動計画中間見直しについて 承認 ・次期地域福祉活動計画期間について 承認 ④報告事項 ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策による影響について ・生活福祉資金特例貸付受付状況について 出席：12/14人	福祉パル たま
2月22日 書面表決	① 川崎市多摩区社会福祉協議会 第4期地域福祉活動計画中間見直し(案)について 承認 13人 保留 1人 ② 川崎市多摩区社会福祉協議会 令和3年度事業計画(案)及び令和3年度予算(案)について 承認 14人 回答：14/14人	—

イ 運営協議会

期 日	内 容	会 場
3月25日 書面報告	① 川崎市多摩区社会福祉協議会 第4期地域福祉活動計画中間見直し(案)について ② 川崎市多摩区社会福祉協議会 令和3年度事業計画(案)及び令和3年度予算(案)について 委員 22人	—

ウ 正副会長会議の開催

期 日	内 容	会 場
4月3日	① 報告事項 ・新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえた当面の事業運営について ② 第5種会員会議（地区社協会長会議）の開催について ③ 川崎市多摩区社会福祉協議会 第1回常任委員会の開催について ④ その他 ・福祉パルの移転について 出席：3人	福祉パル たま
9月14日	① 川崎市多摩区社会福祉協議会 第2回常任委員会について ② その他 出席：3人	福祉パル たま
12月14日	① 市社協会員及び会費等制度検討委員会の検討内容についての進捗状況と今後の見通しについて ② 令和2年度多摩区社会福祉功労者感謝状贈呈式について ・顕彰候補者について ・感謝状贈呈式次第及びレイアウトについて ・記念品について ③ 報告事項、他 出席：3人	
1月25日	① 令和2年度感謝像贈呈式の開催について ② 令和3年度事業計画(重点事業)(案)について ③ 第3回常任委員会、第1回運営協議会の開催について ④ 報告、確認事項 出席：3人	
2月12日	① 第3回常任委員会書面審議内容の確認 ② 第5種会員会議(地区社協会長会議)について ③ その他 出席：正副会長 2/2名	福祉パル たま

(2) 賛助会員の募集実績

地区	件 数	実 績 額
登戸地区	464件 (512件)	798,000円 (1,179,000円)
菅地区	606件 (619件)	670,000円 (728,000円)
中野島地区	251件 (220件)	347,000円 (371,000円)
稲田地区	680件 (732件)	927,000円 (994,000円)
生田地区	1,309件 (1,427件)	1,963,000円 (2,074,000円)
合 計	3,310件 (3,510件)	4,705,000円 (5,346,000円)

() 内は前年度実績

3 企画・広報事業

(1) 区社協だより「多摩」の発行

発行日	内 容	発行部数
9月1日 (第86号)	① 年末たすけあい運動「慰問金」申請について ② 令和元年度事業報告 ③ 令和2年度事業計画 ④ 地域福祉貢献事業起業助成金 ⑤ 赤い羽根共同募金運動への協力をお願い ⑥ 賛助会員募集 ⑦ 福祉パルたま・老人いこいの家・老人福祉センター利用制限のご案内 他	6,800部 (8頁)
12月1日 (第87号)	① 年末たすけあい運動への協力をお願い ② コロナ禍での活動のポイント ③ 新型コロナウイルス感染症の影響下での地域福祉活動について ④ 老人いこいの家からのお知らせ ⑤ 多摩老人福祉センター 健康フェア ⑥ 多摩区社会福祉大会中止のお知らせ 他	6,800部 (4頁)
3月19日 (第88号)	① 社会福祉協議会とは ② コロナ禍での活動紹介 ③ 老人いこいの家からのお知らせ ④ 賛助会員募集 ⑤ 共同募金協力のお礼 ⑥ 令和2年度予算	42,600部 (1頁) タウン誌1面

(3) 第13回多摩区社会福祉大会の開催

ア 多摩区社会福祉大会実行委員会

期 日	内 容	会 場
7月31日	① 委員長及び副委員長の選任について ② 第12回多摩区社会福祉大会報告について ③ 第13回多摩区社会福祉大会について ④ 顕彰推薦について 出席：10名	福祉パル たま

4 地域福祉活動事業

(1) 地区社会福祉協議会活動の支援

地区社会福祉協議会会長会議

期 日	内 容	会 場
4月8日	① 新型コロナウイルスの感染拡大状況について ② 当面の区社協・地区社協の運営・活動について 出席：5団体	福祉パル たま
6月18日	① 賛助会員募集について ② 情報交換 出席：5団体	福祉パル たま
7月20日	① 共同募金街頭募金について ② その他 出席団体：5団体	福祉パル たま

2月25日	① 令和3年度 地区社協育成交付金・地区社協福祉活動費について ② 令和3年度 賛助会員募集時期について ③ 次期 区社協常任委員、運営協議委員の選出について 出席：5団体	福祉パル たま
-------	---	------------

(3) 車椅子の貸出

ア 貸出件数・台数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数(件)	2	0	2	4	3	12	8	9	6	3	8	6	63
台数(台)	2	0	2	4	3	27	9	9	11	3	8	6	84

イ 利用者状況と利用目的

利用者状況	障害者(児)	7
	高齢者	22
	病気	10
	けが	19
	福祉教育等その他	26

利用目的	通院	26
	通学	4
	旅行	3
	買い物	9
	行事への参加	11
	福祉教育等その他	31

5 団体等助成事業

(1) 地域福祉活動費助成 (※賛助会費募集実績額の70%から資材費負担額を差し引いた額)

地区名	登戸	菅	中野島	稲田	生田	合計
助成額(円)	524,597	426,913	219,824	595,085	1,230,135	2,996,554

(2) ふれあい活動支援事業費助成(会食・配食・ミニデイサービス活動)

活動内容	実施団体	助成額(円)
会食会	稲田地区社会福祉協議会	62,715
	特定非営利活動法人秋桜舎コスモスの家	205,000
	特定非営利活動法人たすけあい多摩	130,000
	登戸地区社会福祉協議会	135,000
	菅地区社会福祉協議会 老人会食委員会	122,000
	中野島会食会委員会	135,000
	生田地区社会福祉協議会	105,000
	ほがらか会	115,000
ミニデイ	多摩みのりの会	177,000
合 計		1,186,715

(3) 助成金配分委員会の開催

期 日	内 容	会 場
5月14日 書面審査	① 令和元年度の活動報告について ② 令和2年度の活動助成及び行事助成の配分金額について 承認9人(回答数9人/10人)	—

8月31日	① 令和元年度寄付金品の受入れ及び配分状況報告について ② 令和2年度の活動助成金申請の審査について ③ 令和2年度地域貢献事業起業助成金募集要項について 承認（出席：7人/10人）	福祉パル たま
2月18日 書面審査	① 令和3年度活動助成金及び行事助成金の配分額について ② 令和2年度寄付金・物品の受入状況・助成金交付状況について ③ 地域福祉貢献事業起業助成金報告について 承認8人（回答数8人/10人）	—

(4) 第9種会員、第10種会員活動助成金

項目	配分先	配分額(円)
第9種会員 当事者団体 (11団体)	多摩区身体障害者児団体協議会	14,000
	多摩区肢体障害者協会	14,000
	川崎市視覚障害者福祉協会多摩支部	14,000
	多摩区聴覚障害者協会	14,000
	多摩区肢体不自由児者父母の会	14,000
	多摩区母子寡婦福祉会	14,000
	川崎市育成会手をむすぶ親の会多摩支部	14,000
	泰山木の会	14,000
	多摩みのりの会	14,000
	川崎断酒新生会多摩支部	14,000
	ジョイフル遊園班	14,000
第10種会員 たまわかくさ・ ボランティア グループ (12団体)	たまわかくさ(多摩区当事者・ボランティア連絡会)	80,000
	手話サークル山びこ	14,000
	手話サークル多摩の会	14,000
	コスモスの会	14,000
	じゃりんこクラブたま	14,000
	なごみトイライブラリー	14,000
	ひっきいず	14,000
	傾聴ボランティアきぼう	14,000
	ゆきわり草	14,000
	みみちゃんの会	14,000
	多摩サポーターズ	14,000
	シニア読み聞かせボランティア りぷりんと・かわさき	14,000
合 計	388,000	

(5) 寄付品配分

寄付品名	配分先	配布数
マスク	区内 老人いこいの家 7館	20枚
蚊帳生地ふきん	区内 老人いこいの家 7館（老人いこいの家指定）	50枚

6 共同募金事業

(1) 共同募金会が実施する共同募金運動の協力

ア 神奈川県共同募金会多摩区支会委員会

日時	内 容	会場
第1回 区支会委員会 6月11日 (書面表決)	① 令和元年度共同募金実施報告 ② 令和元年度決算報告 ③ 正副支会長の推薦について ④ 顧問の推薦について ⑤ 川崎市支会連合会委員の推薦について ⑥ 会則の一部改正について 書面表決の回答数：25名（賛成25名により可決）	—
第2回 区支会委員会 3月29日 (書面表決)	① 令和3年度共同募金実施計画（案）について ② 令和3年度川崎市多摩区支会目標額（案）について ③ 令和3年度川崎市多摩区支会予算（案）について ④ 監事の選出（案）について 書面表決の回答数：31名（賛成31名により可決）	—

イ 正副支会長会議

期 日	内 容	会場
正副支会長会議 1月20日 (書面表決)	① 令和3年度多摩区支会目標額について ② 監事の選出方法について 書面表決の回答数：9名（賛成9名により可決）	—

ウ 各地区分会

分会名	日時	会 場	内 容
登戸分会	9月10日	福祉パルたま 研修室	①令和元年度 共同募金実績報告 について ②令和2年度 共同募金実施計画 について ③令和2年度 各種別募金運動に ついて
菅地区分会	8月11日	菅会館	
中野島地区分会	9月14日	中野島会館	
稲田地区分会	9月22日	宿河原会館	
生田地区分会	9月16日	多摩区役所3階 大会議室	

(2) 共同募金配分事業の実施

①年末たすけあい運動配分委員会の開催

期 日	内 容	会 場
7月2日	① 令和元年度年末たすけあい運動募金および配分結果について ② 令和2年度年末たすけあい運動配分計画（案）について ③ 令和2年度年末たすけあい運動「慰問金」の配布方法及び申請 （案）について 出席：18名	福祉パル たま
12月14日	① 令和2年度多摩区年末たすけあい募金の配分について 出席：19名	福祉パル たま

②配分内容および配分金額

種別	配分内容	配分金額(円)
一般募金配分	区社協だより「多摩」の発行	356,100
	ボランティアセンターの運営	55,188
	多摩区民祭への助成・参加費	0
	たまたま子育てまつりへの助成	0
	多摩ふれあいまつりへの助成	0
	社会を明るくする運動多摩区推進委員会への助成	60,000
	福祉教育推進委員会等の開催	60,578
年末たすけあい募金配分	年末慰問金配布事務経費	450,592
	母親クラブ活動への助成	30,539
	地区社協活動への助成	3,775,000
	福祉車両貸出事業の実施	341,996

ア 年末慰問金配分実績（一世帯当たり 5,000 円）

種別	配分件数(世帯)	配分金額(円)
身体障害者 1 級世帯	323 世帯	1,615,000 円
身体障害者 2 級世帯	155 世帯	775,000 円
知的障害者世帯（療育手帳 A）	88 世帯	440,000 円
精神障害者世帯（1 級）	11 世帯	55,000 円
要介護高齢者世帯（要介護 4）	21 世帯	105,000 円
要介護高齢者世帯（要介護 5）	27 世帯	135,000 円
合計	625 世帯	3,125,000 円

7 福祉パル管理運営事業

(1) 研修室、ボランティアコーナーの利用提供

ア 研修室利用状況（時間帯別・曜日別・利用内容別）

月	合計		時間帯別件数・人数						曜日別件数・人数						利用内容別件数・人数							
	件数	人数	午前		午後		夜間		平日		土曜		日曜		ボランティア活動		会議		研修		その他	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	2	21	0	2	21	0	0	0	2	21	0	0	0	0	0	0	2	21	0	0	0	0
5月	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
6月	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
7月	18	224	10	8	88	0	0	0	18	224	0	0	0	0	6	89	11	123	1	12	0	0
8月	18	182	9	9	96	0	0	0	18	182	0	0	0	0	7	74	7	74	3	30	1	4
9月	25	296	10	15	189	0	0	0	25	296	0	0	0	0	4	64	19	204	2	28	0	0
10月	20	244	9	11	139	0	0	0	20	244	0	0	0	0	5	69	13	146	2	29	0	0
11月	24	214	10	14	128	0	0	0	24	214	0	0	0	0	5	58	11	78	7	71	1	7
12月	20	227	7	13	154	0	0	0	20	227	0	0	0	0	6	88	12	120	2	19	0	0
1月	16	117	5	11	66	0	0	0	16	117	0	0	0	0	2	12	13	101	1	4	0	0
2月	21	178	10	11	85	0	0	0	19	164	2	14	0	0	5	37	14	119	1	18	1	4
3月	32	306	14	17	148	1	10	10	27	237	5	69	0	0	9	100	15	130	5	64	3	12
合計	196	2009	84	111	1114	1	10	10	189	1926	7	83	0	0	49	591	117	1116	24	275	6	28

イ 研修室利用状況 (団体別)

月	合計		ボランティア		民生委員		福祉・当事者		福祉施設		社協		行政		その他	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	2	21	1	7	1	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	7	53	0	0	2	16	0	0	0	0	5	37	0	0	0	0
7月	18	224	7	92	2	32	1	12	0	0	8	88	0	0	0	0
8月	18	182	7	74	1	15	6	61	0	0	4	32	0	0	0	0
9月	25	296	8	92	2	33	1	14	0	0	14	157	0	0	0	0
10月	20	244	8	105	3	27	4	41	0	0	4	53	1	18	0	0
11月	24	214	7	72	0	0	3	24	0	0	13	111	1	7	0	0
12月	20	227	6	89	1	13	2	14	0	0	11	111	0	0	0	0
1月	16	117	3	18	1	15	0	0	0	0	11	80	1	4	0	0
2月	21	178	7	51	2	31	1	12	0	0	9	69	1	9	1	6
3月	32	306	13	126	3	27	6	56	0	0	9	82	1	15	0	0
合計	203	2062	67	726	18	223	24	234	0	0	88	820	5	53	1	6

ウ ボランティアコーナー利用状況（時間帯別）

月	合 計		時間帯別利用件数及び利用者数					
	件数	人数	午前		午後		夜間	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	5	24	2	7	3	17	0	0
5月	—	—	—	—	—	—	—	—
6月	—	—	—	—	—	—	—	—
7月	11	35	6	17	5	18	0	0
8月	2	6	1	3	1	3	0	0
9月	10	38	6	22	4	16	0	0
10月	4	15	1	6	3	9	0	0
11月	10	30	7	23	3	7	0	0
12月	9	41	7	32	2	9	0	0
1月	7	16	4	9	3	7	0	0
2月	6	20	4	13	2	7	0	0
3月	9	31	4	15	4	13	1	3
合計	73	256	42	147	30	106	1	3

8 生活福祉資金貸付事業

(1) 資金別相談件数

資金の種類	総合支援資金	臨時特例 つなぎ 資金	緊急小口 資金	福祉資金 教育支援 資金	不動産 担保型 生活資金	生活福祉 資金以外 の相談	合計
相談件数	8,313	0	7,913	905	31	9	17,171

(2) 相談内容件数

資金の種類	制度内容問い合わせ			貸付相談			償還相談		
	面 接	電 話	その他	面 接	電 話	その他	面 接	電 話	その他
総合支援資金	4	34	0	0	0	0	2	6	3
総合支援資金 (特例)	507	5,213	902	200	424	959	0	45	14
臨時特例 つなぎ資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緊急小口資金	8	73	0	4	12	4	1	26	47
緊急小口資金 (特例)	871	4,183	654	294	269	1,467	0	0	0
福祉資金・ 教育支援資金	31	224	0	123	274	79	15	122	37
不動産担保型 生活資金	2	20	0	0	1	7	0	1	0
生活福祉資金 以外の相談	5	4	0						
合計	1,428	9,751	1,556	621	980	2516	18	200	101

(3) 貸付決定状況

資 金 種 別	件 数	貸付決定額
総合支援資金 (生活支援費)	0 件	0 円
総合支援資金 (住宅入居費)	0 件	0 円
総合支援資金 (一時生活再建費)	0 件	0 円
総合支援資金 (特例)	1,225 件	826,480,000 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円
緊急小口資金	2 件	200,000 円
緊急小口資金 (特例)	1,799 件	310,678,000 円
福祉費	2 件	352,000 円
教育支援資金	9 件	7,895,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円 (貸付限度額)
合 計	3,037 件	1,145,605,000 円

9 ボランティア活動振興事業

(1) 多摩区ボランティアセンター運営委員会

期 日	内 容	会 場
11月9日 (第1回)	1 自己紹介 2 議題 (1)多摩区ボランティアセンターについて (2)ボランティア運営委員会について (3)正副委員長の選出について (4)令和2年度事業について (5)川崎市社会福祉協議会ボランティア運営委員会委員の推薦について (6)部会長の選出について 出席：運営委員15名 事務局3名	多摩市民館 第1.2 学習室

(2) ボランティア相談会「たまぼらひろば」の開催(たまぼらひろばの出店は見合わせ) 相談件数

	項 目	活動希望	活動依頼
相談者	本人	11	1
	家族・親類	—	1
	ケアマネジャー・ホームヘルパー	—	1
	包括支援センター	—	1
	福祉施設等	—	3
	その他	1	2
	合計	12	9
対応状況	活動先紹介・ボランティア調整	3	6
	資料提供・広報協力	7	2
	ボランティア登録	1	—
	他機関・団体へ対応相談、情報提供依頼	—	1
	相談者から連絡待ち	1	—
	合計	12	9

(3) ボランティア情報発信事業 ボランティア情報誌「たまぼら」の発行

発行日	内 容	発行部数
1月14日号 (第92号)	① フードバンクかわさき事業の紹介 ② ボランティア相談会「たまぼらひろば」からのお知らせ ③ 川崎市社協事業食糧支援・マスク寄付についてのお知らせ ④ 福祉パルたま移転のお知らせ ほか	2,047部

(6) 福祉教育の推進

①福祉教育推進委員会

期 日	内 容	会 場
11月13日	① 委員長及び副委員長の選出について ② 今年度の活動について ③ ワーキンググループについて 出席：12名	多摩市民館 大会議室

知的障害疑似体験オンライン化への協力

期 日	内 容	会 場
2月19日 3月20日	知的障害疑似体験デモ体験会 主催：かわさきキャラバン隊（川崎市育成会手をむすぶ親の会権利擁護委員会） 協働団体：NEC 多摩川プロボノ倶楽部 2月19日福祉教育推進委員出席：6名	福祉パル たま オンライン

10 日常生活自立支援事業

(1) 相談件数

	電話	来所	訪問	その他	合計
初回相談(実人数)：人	57	5	-	1	63
継続相談(延件数)：件	1,943	116	351	12	2,422
合 計	2,000	121	351	13	2,485

(2) 対象者性別・年齢内訳(初回相談)

単位：人	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	65歳～	70歳～	80歳～	90歳～	不詳	合計
男性	-	2	2	4	3	2	1	4	11	2	2	33
女性	-	-	1	2	2	1	2	5	7	4	5	29
不詳	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
合計	0	2	3	6	5	3	4	9	18	6	7	63

(3) 相談内容

単位：件	高齢者		知的障害者	精神障害者	身体障害者	その他	合計
	認知症	その他					
日常的金銭管理	7	26	7	12	1	-	53
成年後見問合せ	2	1	-	2	-	-	5
今後の生活設計	1	2	-	-	-	-	3
その他	1	1	-	-	-	-	2
合計	11	30	7	14	1	0	63

※ 相談0件の項目 証書等預かり、相続・遺言、財産侵害、人権侵害(虐待等)、消費・金融・契約、労働・就労関係、施設関係、保健サービス手続、福祉保健問合せ、福祉サービス手続福祉サービス苦情、介護・医療事項、代弁行為、本事業問合せ

1 1 老人いこいの家運営事業

(1) 利用状況

4月11日～5月31日は休館、6月からは利用人数制限で開館
上段は団体利用人数(利用団体数)・下段は個人利用人数

月 開所日数	4月 9	5月 0	6月 26	7月 25	8月 25	9月 25	合計 年間開所 255日
月 開所日数	10月 27	11月 23	12月 24	1月 23	2月 22	3月 26	
登戸	29(5)	0(0)	55(16)	78(24)	101(23)	156(31)	団体利用
	25	0	19	51	45	46	1,746(339)
	208(40)	252(42)	252(43)	202(37)	183(36)	230(42)	個人利用
	70	83	88	73	67	102	669
長尾	15(3)	0(0)	65(8)	179(28)	301(31)	336(40)	団体利用
	21	0	98	110	128	111	2,608(335)
	342(44)	288(38)	368(45)	223(28)	230(31)	261(39)	個人利用
	114	99	50	42	47	48	868
枳形	0(0)	0(0)	38(8)	120(21)	155(29)	248(42)	団体利用
	20	0	85	88	39	39	2161(339)
	275(42)	273(39)	276(41)	197(35)	247(37)	332(45)	個人利用
	71	103	84	72	71	97	769
錦ヶ丘	0(0)	0(0)	54(10)	84(19)	52(14)	129(30)	団体利用
	27	0	52	195	162	199	1,305(242)
	309(34)	151(28)	138(28)	85(20)	133(29)	170(30)	個人利用
	219	218	191	170	177	208	1,818
南菅	0(0)	0(0)	35(6)	240(27)	263(31)	388(47)	団体利用
	78	0	271	208	207	227	4,187(545)
	625(81)	653(81)	577(77)	404(58)	443(61)	559(76)	個人利用
	258	206	188	160	186	257	2,246
菅	0(0)	0(0)	186(35)	256(47)	365(50)	568(71)	団体利用
	19	0	27	89	25	23	4,012(586)
	558(73)	526(69)	494(64)	266(51)	306(54)	487(72)	個人利用
	52	28	20	35	30	48	396
中野島	42(5)	0(0)	120(24)	122(24)	152(23)	333(39)	団体利用
	30	0	86	92	79	81	3,211(370)
	460(47)	404(43)	393(42)	308(38)	415(44)	462(41)	個人利用
	128	102	127	101	80	100	1,006
団体利用人数合計 (利用団体数合計)							19,230 (2,756)
個人利用人数合計							7,772

(2) 老人いこいの家管理人研修会の開催

期 日	内 容	会 場
① 2月15日 ② 2月1日～ 28日	① 普通救命講習・AEDの使い方について (出席：14名 管理人4名・代替臨時職員10名) ② テキスト配布による自習型研修(出席：管理人21人)	① 福祉パルたま ② 各いこいの家

(3) ふくし寄合処たまの開催 (4月～9月まで中止。10月以降は人数制限内で実施)

開催月	登戸		中野島		南菅		長尾		錦ヶ丘	
	参加者数	関係機関	参加者数	関係機関	参加者数	関係機関	参加者数	関係機関	参加者数	関係機関
10月	4	1	5	0	0	0	2	0	4	1
11月	5	1	5	0	0	0	2	0	6	1
12月	5	1	3	0	0	0	2	0	3	1
1月	5	1	4	0	0	2	1	0	0	1
2月	4	1	2	0	0	0	1	0	1	1
3月	5	1	5	0	1	0	0	0	2	1
合計	28	6	24	0	1	2	8	0	16	6

(4) 公開講座の開催

日時	いこいの家	内 容
10月19日～ 12月17日 第3木曜日 ※1月以降感染拡大防止のため中止	南菅	転倒予防体操 講 師：よみうりランド花ハウス職員 参加者：合計19名
①12月21日 ②1月8日 ③1月18日 ④1月28日 ⑤2月3日 ⑥2月9日 ⑦2月17日 ⑧2月24日 ⑨3月2日 ⑩3月12日	①登戸 ②菅 ③登戸 ④中野島 ⑤錦ヶ丘 ⑥枳形 ⑦中野島 ⑧長尾 ⑨枳形 ⑩南菅	「終活を知ろう！」 講 師：榊貴方の側で 終活ライフケアサロン(株)ENBRIDGE 参加者：合計69名 ①⑥終活とは/子供に迷惑をかけない終活/喪主の準備 と葬儀社の見分け方 ② 家族葬？直葬？一日葬？とは/葬儀社の見分け方/最近のお墓事情 ③⑨エンディングノートを書いてみよう ④⑩相続を争続としないために/生前贈与・相続税の知識/ 資産を守るために知っておくべきこと ⑤ 失敗しないお葬式/おいしいコーヒーの淹れ方 ⑦⑧おひとりさまでも安心～介護と福祉・後見制度とは～

12 多摩老人福祉センター運営事業

年間利用者数の状況

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	団体	0	0	97	445	397	481		
	個人	51	0	446	574	639	679		
合計		51	0	543	1,019	1,036	1,160		
入浴者数		0	0	82	149	133	127		
健康相談	医師	0	0	2	5	2	2		
	保健師等	1	0	12	9	4	3		
生活相談		0	2	6	8	2	5		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
利用者数	団体	519	475	412	285	331	518	3,960	
	個人	1,247	1,144	1,146	741	907	705	8,279	
合計		1,766	1,619	1,558	1,026	1,238	1,223	12,239	
入浴者数		198	175	114	0	0	0	978	
健康相談	医師	5	3	5	2	5	2	33	
	保健師等	15	9	8	5	5	9	80	
生活相談		3	10	3	1	2	2	44	

(1) 各種講座の実施

(講座種類 22 種 講座実施回数 92 回 延べ参加者数 1,654 名)

講座名	回数	参加者数	講座名	回数	参加者数
身体と仲良くする運動(前期)		延期	フォークダンス (後期)	8	174
パステルアート (前期)		延期	コーラス (後期)	4	130
フォークダンス (前期)		延期	やさしいヨガ (後期)	8	103
コーラス (前期)		延期	絵手紙 (後期)	8	109
やさしいヨガ (前期)		延期	手芸 (後期)	8	125
絵手紙 (前期)		延期	太極拳 (後期)	8	207
手芸 (前期)		延期	楽しく歌いましょう (後期)	8	211
民謡 (前期)		中止	手話ソング (後期)	8	86
太極拳 (前期)		延期	切り絵 (後期)	8	40
身体と仲良くする運動(後期)	8	149	文学講座 (短期)	4	132
パステルアート (後期)	8	71	歴史講座 (短期)	4	117

(2) 各種行事の開催

ア 講座作品展と発表会 (開催回数 前期 0 回 後期 4 回 参加者数 47 名)

行事名称	行事内容	開催日	参加者数
後期講座作品展・発表会	絵手紙	1月20日～2月3日	16
	パステルアート	2月2日～2月16日	10
	手芸 (布小物作り)	2月4日～2月18日	16
	切り絵	2月4日～2月18日	5

イ 敬老のつどい (開催回数 1回 参加者数 19名)

行事名称	行事内容	開催日	参加者数
敬老のつどい	健康フェアと合同開催:ボッチャ体験	12月16日	19

(3) 健康増進事業

①いきいき健康フェアの開催 (開催回数 1回 参加者数 28名)

行事内容	開催日	参加者数
第1部:変形性膝関節症について(センター嘱託医) 第2部:ボッチャ体験(敬老のつどいとして開催)	12月16日	28

②健康増進講座 (開催回数 59回 延べ参加者数 925名)

行事名称	回数(回)	参加者数
体操教室(新型コロナウイルスの影響により10月から再開)	12	233
いきいき体操(新型コロナウイルスの影響により8月から再開)	47	692

③機能回復訓練講座 (開催回数 16回 延べ参加者数 311名)

行事名称	回数(回)	参加者数
転倒予防教室(新型コロナウイルスの影響により10月から再開)	6	92
ロコモン体操(新型コロナウイルスの影響により10月から再開)	10	219

1.3 公益事業

(1)川崎市高齢者フリーパス交付事務

<交付件数>

() 内は福祉パス

月	4	5	6	7	8	9	計
件数	252 (71)	244 (49)	355 (63)	296 (43)	261 (49)	301 (40)	
月	10	11	12	1	2	3	
件数	288 (54)	251 (34)	280 (49)	236 (33)	240 (39)	455 (161)	

1.6 その他

実習生及び視察・見学の受入れ

学校名	人数	実習期間
明治学院大学社会福祉学科	4年生1人	7月31日(オリエンテーション) 8月18日~9月30日(計25日間)